

令和3年1月7日からの大雪等による被害状況等について（第15報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	12月28日 14:00	警戒体制	北海道運輸局	1月 7日 8:00	注意体制
北海道開発局	1月 7日 10:00	警戒体制	東北運輸局	12月15日 9:00	注意体制
東北地方整備局	1月 7日 13:00	警戒体制	北陸信越運輸局	1月10日 9:00	警戒体制
中部地方整備局	1月 7日 17:00	注意体制	中部運輸局	1月13日 16:00	警戒体制
北陸地方整備局	1月11日 18:30	警戒体制	近畿運輸局	12月30日 15:00	注意体制
近畿地方整備局	1月13日 16:00	警戒体制	神戸運輸監理部	12月30日 7:11	注意体制
国土地理院	12月17日 7:45	注意体制	中国運輸局	1月11日 16:30	注意体制
			四国運輸局	1月 7日 9:00	注意体制
			気象庁	12月28日 14:00	警戒体制

2. 気象状況（気象庁）

<概況>

7日から8日朝にかけて低気圧が急速に発達しながら日本海から北日本を通過して千島近海へ進み、その後日本の上空に強い寒気が流れ込んで強い冬型の気圧配置となった。冬型の気圧配置は11日にかけて続いた。

7日から8日にかけて北日本と東日本の日本海側を中心に広い範囲で非常に強い風が吹き、秋田県八森では7日に最大瞬間風速42.4m/s、最大風速28.1m/sを観測し、ともに観測史上1位の記録を更新した。

7日以降11日にかけて、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に断続的に強い雪が降り、普段雪の少ない九州や四国などでも積雪となったところがあった。北陸地方を中心に7日から9日にかけて発達した雪雲が流れ込み続けたため、3時間に20センチを超える顕著な降雪量を観測し、新潟県高田では9日に24時間降雪量103センチを観測し、観測史上1位の記録を更新した。

3. 国土交通省の対応

○国土交通省災害対策連絡調整会議開催(1/6)

○大雪に関する幹部連絡会議開催(1/8)

○大雪に備えた国土交通省災害対策連絡調整会議開催(1/12)

○大雪に対する国土交通省緊急発表

1/6(本省、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国)、1/7(九州)

○都道府県への支援等

(富山県)

・現地WEB連絡会議を実施(1/10-)

※北陸地整、北陸信越運輸、富山県、NEXCO中日本、富山県警、自衛隊が参加

・北陸地整、北陸信越運輸及びNEXCOが協力し、プッシュ型支援(物資の提供、ドライバーの宿舎手配、宿舎への送迎等)を実施

(福井県)

・福井県冬期道路情報連絡室会議を実施(1/7-)

※近畿地整、中部運輸局、福井県、NEXCO中日本、NEXCO西日本、福井県警、福井地方气象台、自衛隊が参加

・近畿地整、中部運輸局及びNEXCOが協力し、プッシュ型支援(物資の提供、ドライバーの宿舎手配、宿舎への送迎等)を実施

・福井県からの要請に基づき、福井県トラック協会がNEXCOへの緊急物資輸送を支援

(新潟県)

・豪雪対策本部(1/9 9:00新潟県庁)へリエゾンを派遣

・北陸地整がプッシュ型支援(物資の提供)を実施

○TEC-FORCE等の派遣 17名(1/13)

・リエゾン 11名派遣

(秋田県1、新潟県上越市1、福井県3、福井県福井市1、坂井市1、大野市1、勝山市1、永平寺町1、池田町1)

・現地支援 近畿地整本局から2名派遣

・JETT 3名派遣(富山県3)

※最大派遣は以下のとおり

・リエゾン 28名(1/8)

・JETT 9名(1/6)

○災害対策機械の派遣 1台 (1/13)

・除雪車1台派遣(新潟県上越市)

4. 海上保安庁の対応 (1/13 15:00)

(1) 勢力(大雪への対応)

航空機 17機(固定翼7機、回転翼10機)

※釧路基地、千歳基地、函館基地、仙台基地、羽田基地、中部基地、関空基地、新潟基地、美保基地、北九州基地

(2) 体制(暴風・波浪への対応)

警備配備発令中の管区:第一管区(北海道)

(3) 自治体との連絡設定

関係管区から地方自治体に対し、情報収集するも、現在までのところ、当庁への支援要請等なし

(4) 確認している主な被害情報等

下記地域において、係留中の小型船舶が積雪により転覆・水没。人命に被害なし。

・富山県 48隻・新潟県 4隻

(5) 航行警報等の発出状況

①航行警報 0件

②海の安全情報 12件 [継続中1件](積雪による係留船の浸水・転覆事故防止等に係る注意喚起)

(6) 港湾における避難勧告等実施状況

① 第一体制(警戒勧告):全て解除

② 第二体制(避難勧告):全て解除

③ 臨海部の施設の周辺海域での錨泊制限等の対応状況:全て解除

5. 所管施設等の状況

○孤立情報(1/13 15:30) すべて解消済み

○道路(1/13 15:30) ※施設被害による通行止めなし

■道路の通行止め等

○高速道路:1路線1区間 ※滞留車両なし

E18上信越道 上越高田IC~上越JCT

○有料道路:雪による通行止めなし

○直轄国道:雪による通行止めなし

○補助国道:雪の被災による通行止め情報なし

○鉄道関係(1/13 15:00)

・運転を見合わせている路線:7事業者24路線

(参考:1/7以降の最大値 16事業者52路線(1/9 9:00時点))

・今後、運転を見合わせる予定の路線:なし

○自動車関係(1/13 14:45)

バスの運休状況

・高速バス

18社46路線運休、5社5路線一部運休

・路線バス

16社65路線運休、19社98路線一部運休

・宅配事業 3事業者 北日本から西日本の日本海側を中心に荷物の引受けを停止。

全国的に大幅な遅延 等

・秋田県秋田市における停電発生を受け、災害時防災協定に基づき、三菱自動車工業がプラグインハイブリッド自動車を2台供給

・冬タイヤの未装着等により道路上で立ち往生した事業用自動車について、

悪質な事例については、監査をした上で安全管理義務違反として行政処分をする方針。

○海事関係(1/13 15:30)

海上荒天により、2事業者2航路において、運休又は一部運休。

○港湾関係(1/13 15:00)

・港湾における被害情報 ※港湾利用に支障なし

酒田港(山形県) 防波堤の一部破損

・臨港道路の通行止め ※滞留車両無し

酒田港(山形県) 2路線

※最大:1/8 5路線(酒田港2路線、伏木富山港1路線、魚津港2路線)

○航空関係(1/13 15:00)

・空港施設等被害なし

・欠航便

<1月7日>

国内線541便(ANA253便、JAL146便、その他142便)

<1月8日>

国内線397便(ANA178便、JAL108便、その他111便)

<1月9日>

国内線286便(ANA87便、JAL86便、その他113便)

<1月10日>

国内線66便(ANA29便、JAL14便、その他23便)

<1月11日>

国内線13便(ANA3便、JAL8便、その他2便)

<1月12日>

国内線79便(ANA34便、JAL31便、その他14便)

<1月13日>

国内線6便(ANA3便、JAL3便)

○河川の状況

・9日に一時、投雪による河道閉塞で氾濫危険水位を超過した鴨川(富山県管理)は、河道内の除雪(排雪)作業により10日未明より平常時の水位に戻る。一般被害の報告なし。

○都市関係

国営公園:積雪による臨時休園

・国営越後丘陵公園(新潟県)1/8-1/10

・国営備北丘陵公園(広島県)1/8-1/9

問合先:水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代表:03-5253-8111 内線35-822
直通:03-5253-8461